

特に国公立2次試験対策では、とても熱心にご指導いただきました。面接練習では他学年であっても志望している教科の担当の先生が指導についてくださり、ほとんど毎日、面接の所作の練習のみならず教科に対しての理解も深める時間をとってご指導くださいました。対面の時間外でもClassiなどの学習支援ツールのメッセージ機能を通じて質問を受け付けていただいたりと全力で支援していただきました。普段の授業の中でも、教科書内外の疑問に答えてくれたり一緒に考えてくれたりと、様々な学びを得られることができました。

部活動は漫画研究部に所属していました。小規模ながら部員各々が自由に、先輩後輩関係なく居心地の良い空間で毎週活動できていたことが思い出です。特に文化祭では部活動として制作物をまとめた小冊子の頒布を行ったのですが、生徒だけ、部員だけで小冊子の編集や装丁やそれに伴う買い出しや頒布場所の準備だったりできたことはとても良い経験となり、また思い出となりました。

茨高の良いところは、とにかく生徒主体で自由な校風だと思います。私立高の中で茨高を選んだ理由は、当時の自分としては試験の点数がほとんど、噂程度に知り合いから聞いた自由な校風が少しばかりでした。入学してからの3年間で、私はそのとても良い、自由な校風というものを実感し、とても伸び伸びと生活することができました。同級生がとても個性的という点も良いところとして特筆すべきだと思います。趣味嗜好が唯一無二の尖り方をした個性が濃縮されたような同級生との共同空間はとても面白く、また、同級生は私のそういった個性も尊重してくれて、自分を臆病に隠すことなく生活ができたという点はとても過ごしやすく、学校生活を楽しく送れたひとつの理由だと思っています。一貫生との関係は概ね良好なものです。初めの2年間は高入生のみクラス編成です。3年生になって一貫生と高入生の区別のないクラス編成になり、しばらくはお互い緊張していましたが、次第に時間も経って様々な場面で一緒になったり、仲を深める機会を通して“一貫生と高入生”という壁を感じなくなるようになっていきました。

大学では高校の教員となるべく自身の興味が深い専門性のある知識を学んでいく他、将来の生徒の学びに寄り添えるような意識と行動を身に着けていきたいと思っています。茨高で先生方にお世話になった経験を今度は自分が生徒にしていけるようになりたいです。